

勤儉尚武 勤儉尚武

vol. 21

真剣勝負

【年頭のご挨拶】

昨年1月に父が亡くなりましたので、新年のご挨拶は控えさせていただきますが、今年も更に一歩上を目指して稽古に励んでください。

本年は、順心会合氣道会設立十周年の節目の年になります。竹のように「節目」があるからこそ、その先がまっすぐ伸びるのです。この節目の年に会員の皆様と共に修行に励み、さらに成長したいと思います。

【指月の指】

「指月の指」という言葉をご存知ですか？「あそこに月が見えるよ」と言って指を指す時、指を見ては目標の月は見えません。指は月の存在を教える役割であり、手段です。指に例えられるのは普段の稽古で私が説明している言葉です。私が伝えようとしている事を理解するのは、皆さんの頭です。千差万別の経験知識でできた“フィルター”を通して理解されるので、理解のレベルも千差万別です。この段階では、まだ「真理」が伝わっていないのです。その先に「真理」があるのです。指を通して月を見るように、私の発する言葉を通してその向こうにある「真理」（＝本物の技とさらにその奥にある哲学）を学び取って欲しいと思います。それには、混じり氣のない澄み切った心で、方向を指し示す言葉（「指」）をよく聞いて、技をよく見て、真似をして、何度も反復練習をするというたゆまぬ稽古しかないのです。一旦言葉に発せられたものは真理から離れ、真理の存在を指し示す「指」にしか過ぎないのです。「指月の指」ではなく、「指月の月」を目指してください。つまり、技にのみ捉われるのではなく、合氣道の哲学を学び取ってください。その哲学は、

「争わざる心」「平常心」「積極的精神」「万有愛護の精神」「全身リラックス」などなどが代表ですが、その他言葉で表せないことも多くあります。頭でわかるのではなく、稽古を通して「気づいて」ください。

【『禅と日本文化』：鈴木大拙著】

4年ほど前の『勤儉尚武』で「修行」というテーマでご紹介しました『禅と日本文化』（鈴木大拙著）という書物をもう一度考察したいと思います。

『人が禅とはいかなるものかと問えば、自分は禅とは夜盗の術を学ぶに似たるものと答えるであろう。ある夜盗の息子が自分の父の年老いたのを見て思った。「父親が商売をやれぬとすれば、この己より外に家の稼ぎ手はないわけだ。己が商売を覚えねばなるまい」と。彼はこの考えを父親にひそかにもらし、父親もこれを承知した。一夜、父は俵を伴い、ある豪邸に至り、塀を破り、屋内に入り、大きな長持ちの一つを開き、息子にこの中に入って衣服を取り出せと命じた。息子が中にはいるや否や、父はその蓋をおろして鍵をかたく掛けた。そして中庭に飛び出し、泥棒だと大呼し、戸を叩いて、家中の者を起こした上で、さて己は先の塀の穴から悠々と逃げ去ってしまった。家人は立ち騒いで灯りをつけたが、盗人は既に逃げたことがわかった。その間に長持ちの中に固く閉じ込められた俵は父親の無情を恨んだ。彼はひどく煩悶したあげく、名案が不意に浮かんだ。ネズミの物をかじるような音を立てると、家人は下婢に灯りを取って長持ちを調べよと命じた。蓋を開けるや否や、ここに閉じ込められていた捕虜は飛び出した。灯りを吹消した。下婢を突き飛ばした。そして一目散に逃げ出した。人々は彼を追いかけた。彼は路傍に井戸を認めたので、大石を抱き上げてこれをその水中に投じた。すると、暗い井の中に、盗人が入水したのだと思って、追手はことごとく井戸の周囲に集まった。そのうちに彼は無事家に戻った。彼は危機一髪のところだったとあって、父親の

非道を鳴らした。父が言った。「まあ怒るな。どうして逃げてきたかちょっと話してみろ。」そこで倅がその冒険の一部始終を語り終わった時、父親は言った。「それだ。お前は夜盗術の極意を覚えこんだ。」』

『禅と日本文化』鈴木大拙著；岩波新書より抜粋)

これは、禅の修行法のたとえ話ですが、真理がどんなものであっても身をもって体験する事が大切であり、知識や学問に頼るものではないという事です。禅のモットーは、「言葉に頼るな」だそう。人間の魂の直接の表現である芸術品を創ったり、そういう技術に熟達したりする場合、また正しく生きる術を得ようとする場合理屈では表現しきれないのです。芸術や武道を技術的に知るだけでは、真にそれを熟達するには不十分です。

それゆえに、当会では昇級・段審査の審査項目は非公開にしています。いつもその審査基準に則って稽古をしていますが、一応非公開です。以前、審査基準表をデジカメで撮ろうとしている人がいましたが、消去してもらいました。また、自分たちの技をビデオに撮って外部に公開しようとした人がいましたが、これもやめていただきました。言葉でも伝えきれないものを、ビデオなどでは間違っただけでしか伝わらないのです。

また、当然の事ですが、指導者のためのマニュアルなど存在しません。各自が創意工夫して教える事によって、様々な「氣付き」を得られるのです。

【世界金融危機】

アメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界金融危機に日本も大きな影響を受け、「派遣切り」に苦しむ非正規雇用労働者の話は、皆さんもご存知だと思います。しかし、企業は人なり！と申します。ものづくりで有名な日本の技術力は小さな町工場の高い技術によって支えられていますが、労働者を企業の利益のための調整弁のように扱ってはいは、創意工夫も生まれるはずはありません。世界に名を馳せた日本の一流企業が数千人から一万人単位で非正規雇用者を解雇し、大きな問題となっています。

年末に韓国に行く飛行機で読んだ新聞に興味深い記事があったので、ご紹介します。

(一部抜粋)

今また町工場は景気悪化の北風をもろに受ける。約6500の町工場が軒を連ねる東大阪市の年の瀬も寒い。ただ、50センチ角の立方体の小型人工衛星「まいど1号」を生んだのも、この地だ▲衛星は産学協同で完成まで6年を費やした。「ものづくりの街に若者を呼び込みたかった」。発起人の一人、青木豊彦さん(63)は航空機部品を製造している。ボーイング社の世界一小さな認定工場でもある▲職人たちはいつも知恵と工夫と、そして度胸で生き抜いてきた。「(社員に)うちの強みは、お前らや」。青木さんの心意気を、小関さんはそう書き留めている。職人の意地と生きがいを見せて「まいど1号」は来月21日、種子島から宇宙に旅立つ予定だ。

(毎日新聞 2008年12月22日 東京朝刊)

正に、組織は人なり！私はそう思います。節目の10年に当たる今年、そのような思いを年頭の勤儉尚武に書かせていただきました。

会員一人ひとりを大切に思っています。皆さんと共にこれからも修行に励みたいと思います。

【2010年5月合気道ワールドキャンプ】

Japan Aikido Friendship Seminar

May 2-4 2010

Matsusaka, Mie Prefecture,

Hosted by Yoshitake Hashimoto sensei, Founder Junshinkai

Aikido

(日本合気道友好セミナー 2010年5月2日～4日)

(順心会合気道創始者橋本順武先生主催)

Featuring Instructors

Master Koretoshi Maruyama Sensei, Founder Aikido Yuishinkai

Minoru Oshima Sensei, Founder Kodokai Aikido

Michael Williams Sensei, International Chief Instructor Aikido

Yuishinkai

Okajima Sensei, Osaka Chief Instructor Aikido Yuishinkai

(主な指導者)

- ・唯心会合気道創始者丸山維敏先生
- ・弘道会合気道創始者大島実先生
- ・唯心会合気道国際チーフインストラクター

マイケル・ウィリアムズ先生

・唯心会合気道大阪インストラクター

岡島先生

For more information

Danny [Griffith Aikido \(Brisbane\)](#)

Colin [Bentleigh Aikido \(melbourne\)](#)

(詳細は Danny [Griffith Aikido \(Brisbane\)](#)

Colin [Bentleigh Aikido \(melbourne\)](#)まで)

Links

Danny's visit to [Matsusaka 2008](#)

(ダニエルの松阪訪問の写真は

[Matsusaka 2008](#) です)

See pictures of Hashimotos sensei's dojo's in

Matsusaka <http://junshinkai.net>

(松阪の橋本先生の道場の写真は

<http://junshinkai.net>)

Seminar programme

Join a fabulous line up of senior instructors from Japan and around the world for three days of exploring aikido without boundaries building a bridge between Japan and Australia.

(セミナーのプログラム)

(流派に関係なく、世界最高レベルのインストラクターによる3日間の合気道セミナーに参加し、日本とオーストラリアの架け橋を築きましょう)

※現在、オーストラリアの他ハワイ、オランダ等から約50名が参加の意志を表明しています。



【 弘 道 会 合 気 道 】
(1列目中央が大島先生)



【 唯 心 会 合 気 道 】
(左から2人目が丸山先生、中央がマイケル・ウィリアムズ氏)



【 日本酒の試飲をするダニエル氏 】
(おかげ横丁にて)



【2008年順心会合気道会忘年会、若者も参加】
(通称第二道場にて)